

<p><b>【都市経営研究科提供科目】 情報経済論</b> Information Economics</p>	<p>(教員名) 近 勝彦</p>	
<p>都市ビジネス専攻 展開科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2018 年度・前期</p>
<p><b>I 科目の主題</b>                  情報経済論は、経済学のなかでも新しい理論である。しかし、ミクロ経済学の指し示す情報の十分性の前提がないのが現実の経済なので、その不十分性のなかで、どのように買い手や売り手が振る舞えば、より合理的な取引ができるのかを考える。大きく分けると、情報の非対称性論と情報産業論とに分けることができる。この講義では、前者を中心に論じる。すなわち、情報の不確実性かつ非対称性によってレモン市場が発現するがその解消法を考える。さらには、契約における不確実性を考える。また、組織における不確実性に関しては、PA理論（プリンシパル—エージェント理論）を論じる。また、リスクの対応を論じる。最近は行動経済学の考えも導入されることもあるのでその基礎を論じる。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b>                  情報経済論は、抽象度が高く、分かりにくい面もあるので、講義は、2つの内容にわけられる。ひとつは、基礎概念の習得理解である。いまひとつは、その講義を聞いたのちに、具体的な事例を解いていく。後者は、そのまま、本講義の小課題でもある。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b>                  第1回 情報の経済とは                  第2回 事例分析1                  第3回 レモン市場                  第4回 事例分析2                  第5回 シグナルとモニタリング                  第6回 事例分析3                  第7回 ネットワークと情報                  第8回 事例分析4                  第9回 リスク論                  第10回 事例分析5                  第11回 AT理論                  第12回 事例分析6                  第13回 組織設計と情報                  第14回 事例分析7                  第15回 総括</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b>                  資料を配布するので、事前に読んでおくこと</p>		
<p><b>V 評価方法</b>                  テストと小課題の総合によって評価する</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b>                  情報経済論のそれぞれの概念は難しいが日常の課題をソリューションすることで理解が進むので大いに受講してほしい。</p>		
<p><b>VII 教材</b>                  とくになし</p>		